

## 事業計画

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

令和2年度も地方競馬全体が、公正競馬を柱に、ファンの信頼を得ることを目的として健全に施行され、川崎競馬が、引き続き安定して運営されることを期待しています。

令和2年度の予算規模は、本場開催売上を、前年度の当初予算 670 億円に 70 億円を加算した 740 億円規模の当初予算案をまとめ、組合議会で承認されました。

競馬組合は、施策の柱として、川崎在きゅう馬の頭数確保や川崎所属馬並びに所属騎手の成績向上に向けた取り組みを行うとともに、きゅう務員の確保及び小向きゅう舎の設備や練習馬場の改良など「強い馬づくり」を推進するとしています。「賞金及び諸手当の充実」として、全日本2歳優駿競走の優勝賞金が 700 万円増、報知オールスターカップ競走の優勝賞金が 500 万円増、B級競走・2歳競走・3歳競走の賞金が増となります。C1級及びC2級競走においては、川崎在きゅう馬に付加奨励金(進上金対象外)が新設され、新馬購入助成については、市場取引馬への購入奨励金が、20 頭から 50 頭に増枠されます。そのほか、小向練習馬場改修や馬房への冷暖房設備設置、地球温暖化に伴う大雨を視野に入れた、災害への対応策も盛り込まれています。

昨年 10 月の台風被害を踏まえ、役員会で、小向きゅう舎地区の安全確保対策や会員の愛馬の保全対策にも積極的に取り組むとし、我々協会役員・職員は、その対応策協議の会合で、きゅう舎地区並びに多数の会員馬の安全確保対策推進に向け、会員の皆様の声を届けるべく尽力しています。先般、競馬組合から説明を受け、令和2年度から、抜本的な措置として、国が、「多摩川の河道掘削等の治水対策プロジェクト」を実施すると、情報をいただきました。同プロジェクト完了までの間につきましては、上流ダムの事前放流の実施や競走馬の緊急避難に際し、南関東4競馬場で相互に協力し合うこととなったというお話も併せて伺いました。

当協会として、引き続き、競馬組合をはじめ関係機関と連携強調しながら川崎在きゅう馬の確保並びにきゅう務員の確保を図り、「強い馬づくり」に寄与するとともに、きゅう舎地区の安全確

保対策にも力を注ぎたいと考えています。また、当協会の重要な事業である公益目的事業において、社会福祉施設への支援活動等社会福祉貢献をさらに推進します。

会員数も、今や 500 名を超える状況となり、引き続き、当協会入会の特典を強くPRし、さらなる会員数の増を図っていきます。

今後とも、会員の馬主ライフの充実と川崎競馬振興のため、役員・事務局一丸となって尽力しますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

## I 一般会計事業計画

### 1 競走馬購入奨励金事業 225,000 千円

会員が購入等された愛馬に対し、奨励金を支給します。

#### (1)新馬奨励金(外きゅう馬を含む。) (110,000 千円)

2歳馬で、能力試験に合格した川崎在きゅう馬 1 頭につき 100 万円を支給します。

支給頭数:110 頭(先着順、1会員3頭以内)

#### (2) 市場取引馬奨励金(小向在きゅう馬に限定) (100,000 千円)

1歳セリで取得した馬の取得価格の4割、限度額 200 万円(当協会 25%負担)を支給します(支給頭数:50 頭)

- ・希望者を募集し、抽選で支給対象者を決定します。
- ・会員馬であり、事故共済制度に加入が必要です。
- ※(1)と(2)を合わせて、1会員3頭以内とします。

#### (3) 3歳 JRA 転入馬奨励金(小向在きゅう馬に限定) (15,000 千円)

日本中央競馬会から直接川崎小向きゅう舎(外きゅうを除く。)に転入した3歳馬に 30 万円を支給します(協会も負担)。支給頭数 35 頭程度(先着順、1会員2頭以内)

- ・川崎競馬入きゅう後3歳中に、南関4場で1走し、事故共済制度に加入することが条件です。

### 2 着外付加給付事業 84,360 千円

#### (1) 給付額 1頭に対し3万円

(2) 対 象 川崎在きゅうで川崎競馬場に出走し、着外となった会員の馬

(3) 期 間 令和2年 4月 1日から令和3年 3月 31日

(4) 給 付 6月、8月、10月、12月、2月、3月に会員口座に入金

\* 競馬組合の審査を受けてからの支給となります。

3 競走馬育成施設等活用補助事業 20,500 千円

坂路を有する外部育成施設等で調教する場合の施設使用料や馬輸送経費等を馬主に助成する事業の対象頭数を拡充します(15⇒25頭)。

\* 2019年度から、当協会が事務を委託され、事業運営することになりました。

4 馬の防疫対策事業 3,363 千円

(1) 馬インフルエンザ等予防接種

(2) 小向きゅう舎環境対策(消毒・害虫駆除)等

5 馬頭観音慰霊祭事業 2,323 千円

馬頭観音大菩薩供養・傷病へい死馬の慰霊、新年の安全護摩祈願並びに毎開催前の馬場清め払い式を実施します。※馬頭観音慰霊碑を下見所裏に移設しました。

6 馬関係の税関係事業 415 千円

7 広報事業 5,119 千円

(1) 地域社会福祉向上のための「秋まつり」(仮称)参加

(2) 地域社会福祉向上のための児童自立支援施設等への支援

(3) 特別広報活動(インターネットの充実、県市の福祉事業への助成等)

(4) 協会ニュースの発行等

- (5) 新馬戦優勝会員馬主への褒賞
- (6) 開催日のメイン競走優勝会員馬主への褒賞
- (7) 南関東地区重賞競走優勝会員馬主への褒賞
- (8) 新規会員確保

8 協会運営費	45,761 千円
(1) 会議費	(4,515 千円)
(2) 管理費	(36,376 千円)
(3) 交際費	(720 千円)
(4) 職員退職積立金	(640 千円)
(5) 役員退職慰労金積立金	(1,950 千円)
(6) 公租公課	(60 千円)
(7) 予備費	(1,500 千円)

## II 共済会計事業計画

1 事故馬共済事業特別会計	57,906 千円
---------------	-----------

### (1) 事故見舞金

やむなく安楽死処分となった馬、競走馬として復帰が困難で用途変更した馬に対し、見舞金を支払います。3～6か月休養については、一時金を支払い、帰きゅう後に出走等を確認した段階で、残額を支払います。

### (2) 事故休養帰きゅう付加金

事故により見舞金の支給を受け休養した馬が、帰きゅう後に再出走等を確認した段階で、帰きゅう付加金を支給します。

### (3) 長期在きゅう馬報奨金

31 か月以上共済制度に加入していた会員所有馬が、事故見舞金の支給を受けずに共済制度から脱退した場合、一定条件のもと、長期在きゅう馬報奨金を支給します。

## 令和2年度一般会計収支予算

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

### I 収入の部

(単位:円)

款	項	令和2年度予算額 A	2019年度予算額 B	増減額 A-B	前年度対 比
1 会費	1 会費	16,500,000	15,000,000	1,500,000	110.0%
2 補助金		334,147,000	296,787,000	37,360,000	112.6%
	1 組合補助金 (うち秋祭り事業補助金)	331,840,000 (1,200,000)	294,480,000 (1,200,000)	37,360,000 (200,000)	112.7% 100.0%
	2 日馬振補助金	2,307,000	2,307,000	0	100.0%
3 入会金	1 入会金	5,000,000	5,000,000	0	100.0%
4 雑収入	1 雑収入	600,000	600,000	0	100.0%
5 積立金取崩	1 積立金取崩	30,594,000	22,526,000	8,068,000	135.8%
計		386,841,000	339,913,000	46,928,000	113.8%

II 支出の部

(単位:円)

事業名	科目	令和2年度予算額 A	2019年度予算額 B	増減額 A-B	前年度 対比
1 事業費		341,080,240	293,560,190	47,520,050	116.2%
	1 奨励馬事業	225,000,000	190,000,000	35,000,000	118.4%
	2 着外手当事業	84,360,000	72,000,000	12,360,000	117.2%
	3 防疫対策事業	3,363,000	3,363,000	0	100.0%
	4 馬頭観音慰霊費	2,322,960	2,286,160	36,800	101.6%
	5 税関係事業	415,250	487,000	△ 71,750	85.3%
	6 広報事業	5,119,030	4,924,030	195,000	104.0%
	7 川崎在きゅう馬育成施設等活用事業	20,500,000	20,500,000	0	
2 会議費		4,514,920	5,246,950	△ 732,030	86.0%
	1 総会費	603,000	711,950	△ 108,950	84.7%
	2 役員会費	3,241,280	3,689,000	△ 447,720	87.9%
	3 委員会費	670,640	846,000	△ 175,360	79.3%
3 訴訟対策費	1 訴訟対策費	0	0	0	
4 管理費		36,376,180	36,648,860	△ 272,680	99.3%
	1 給料手当	21,759,942	21,085,798	674,144	103.2%
	2 福利厚生費	3,693,357	2,807,032	886,325	131.6%
	3 旅費	4,890,000	5,495,000	△ 605,000	89.0%
	4 備品費	200,000	200,000	0	100.0%
	5 負担金	2,230,000	2,230,000	0	100.0%
	6 通信費	1,096,430	1,065,030	31,400	102.9%
	7 手数料	727,750	542,000	185,750	134.3%
	8 委託料	0	0	0	
	9 保険料	350,000		350,000	
	10 リース料	193,200	227,000	△ 33,800	85.1%
	11 需用費	1,235,500	2,997,000	△ 1,761,500	41.2%
	12 減価償却費	0	0	0	
5 交際費	1 交際費	720,000	720,000	0	100.0%
6 積立金		2,589,660	2,177,000	412,660	119.0%
	1 職員退職積立金	639,660	377,000	262,660	169.7%
	2 役員退任慰労積立金	1,950,000	1,800,000	150,000	108.3%
7 公租公課	1 公租公課	60,000	60,000	0	100.0%
8 予備費	1 予備費	1,500,000	1,500,000	0	100.0%
計		386,841,000	339,913,000	46,928,000	113.8%

## 令和2年度共済特別会計収支予算

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

### I 収入の部

(単位:円)

款	項	令和2年度予算額 A	2019年度予算額 B	増減額 A-B
1 共済掛金	共済掛金	18,700,000	17,950,000	750,000
2 補助金	共済補助金	35,000,000	22,000,000	13,000,000
3 雑収入	預金利息	3,000	3,000	0
4 繰越金	繰越金	4,203,000	10,232,000	△ 6,029,000
計		57,906,000	50,185,000	7,721,000

### II 支出の部

(単位:円)

事業名	科目	令和2年度予算額 A	2019年度予算額 B	増減額 A-B
款・項 1 共済事業費		57,906,000	50,185,000	7,721,000
	事故見舞金	46,000,000	41,000,000	5,000,000
	休養帰きゅう付加金	4,500,000	3,750,000	750,000
	長期在きゅう報奨金	3,000,000	2,000,000	1,000,000
	報酬	1,200,000	1,200,000	0
	通信費	38,000	33,000	5,000
	役員旅費	1,125,000	1,875,000	△ 750,000
	市場視察旅費	700,000	0	700,000
	上場馬カルテ分析費用	500,000	0	500,000
	手数料	124,000	108,000	16,000
	需用費	219,000	219,000	0
	予備費	500,000	0	500,000
計		57,906,000	50,185,000	7,721,000